

「地域における公益的な取組」

1 施設名

山形敬寿園

2 取組の名称

災害に備えた取組事業

3 取組内容について

山形敬寿園が位置する妙見寺は土砂災害警戒区域にも指定されており、火災・土砂災害等の災害発生時に地域の町内会と互助共助の精神に基づき、応援体制についての覚書を締結しております。施設側としては、近隣の一時避難所の役割、要支援者の受け入れ、設備や医療・食料等の備蓄品などの提供、また、町内会からは利用者・入居者の避難誘導及び安全確保等の支援などを定めています。施設では、年3回防災訓練を行っており、職員も防災意識を高めております。有事の際は、関係機関及び施設・近隣住民と力を合わせて対応できるよう努めております。所属する町内会からも、土嚢の寄付をいただいたり、相互の連携が日頃より図られています。

また、令和元年・令和2年度は台風の際に土砂災害の特別警報が発令されました。これまでの訓練を活かし、施設職員が一丸となりマニュアルに沿って柔軟に対応を行い、大きな被害はありませんでした。また全国的に多くの長期間にわたる山林火災が発生していることを受け、近隣の山林火災発生時の想定についても検討を進める予定です。

令和3年度の介護報酬改定により、業務継続計画の策定と定期的な研修・訓練が義務化となり山形敬寿園でも策定・実施を行っています。これまで以上に危機意識を持ち、安心・安全な事業運営を行えるようしっかりと整備して、引き続き研修・訓練にも取り組んでまいります。

4 取り組みの様子

